

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	迅速で的確な救急・消防力の強化		施策番号	17
主担当部署	部名	部長名		
	消防本部	吉川敏勝		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり
		施策展開の方向	1	暮らしの安全を守るまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	地域の自主的な防犯活動の支援や、犯罪の抑止効果のある環境づくりなどにより、犯罪が起きにくい安全なまちをつくります。 消防・救急活動に不可欠な施設や設備の充実を図り、迅速で適切な消防・救急体制を構築することにより、日常生活の安全・安心が守られたまちをつくります。			
施策内容	火災や急病・事故などに迅速かつ適切に対応できるよう、消防通信指令施設などの整備を図るとともに、消火活動に不可欠な消防水利の計画的な整備を推進するなど、暮らしの安心を支える消防・救急体制の充実・強化を図ります。			
目標とする状態	火災や急病・事故などに迅速かつ適切な対応ができ、市民が安心して暮らしています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】	区分		
		【当初値】	【目標値】	
	消防水利の充足率	88.4%	90%	
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	消防救急無線デジタル化整備事業(活動波)		消防救急活動に必要な無線通信エリアの維持と、より信頼性の高い情報伝達手段を確保するため、無線をデジタル化整備します。	
	高機能消防指令センター更新整備事業		119番通報受信から出動指令までを迅速確実に効率的に行うため、高機能消防指令センター機器・システムを更新整備します。	
	消防水利施設等整備事業		消防水利施設整備計画に基づき、消防水利脆弱地域に消火栓及び耐震性を有する防火水槽の整備を進めます。	
	広域幹線道路対応救助資機材整備事業		広域幹線道路の段階的な開通により、新東名高速道路や246バイパス内における諸災害に適切に対応するため、救助資機材等の計画的な整備を行います。	

施策実施 (D○)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段:達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	消防水利の充足率	88.4%	90%	↗	88.7%	88.9%	90.01%	90.4
					98.6%	98.8%	100.0%	100.4%

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	4,607	千円	198,605	千円	44,468	千円	18,059	千円	8,750	千円
	人件費合計(b)	3,612	千円	5,720	千円	3,393	千円	3,393	千円	3,393	千円
	トータルコスト(a)+(b)	8,219	千円	204,325	千円	47,861	千円	21,452	千円	12,143	千円

市民意識	項目		平成27年度	満足度と重要度の相関図				その他の市民ニーズ、意見		
	満足度	施策の値	0.8	↑ 重要度 ↓	← 満足度 →				A 優先的課題 B ニーズ充足 C 選択的課題 D 現状維持	・救急体制を充実して欲しい。 ・消防施設の老朽化対策や訓練施設の充実をすべき。 ・消防力の基準により署所を配置すべき。
		平均値	0.32							
	重要度	施策の値	1.54							
平均値		1.20								

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	17-101	消防救急無線デジタル化整備事業(活動波)	消防救急無線(活動波)のデジタル波への移行状況	計画の策定	運用開始	運用開始	◎	警防救急課
2	17-102	高機能消防指令センター更新整備事業	高機能消防指令センターの更新整備状況	計画の策定	運用開始	運用開始	◎	警防救急課
3	17-103	消防水利施設等整備事業	消防水利施設整備計画に基づく消防水利整備箇所数	1,011カ所	1,019カ所 消火栓3基/年度	1,017カ所 消火栓2基/年度	○	警防救急課
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	17-101	消防救急無線デジタル化整備事業(活動波)	A	—	A	A	A	警防救急課
2	17-102	高機能消防指令センター更新整備事業	A	—	A	A	A	警防救急課
3	17-103	消防水利施設等整備事業	A	—	A	A	B	警防救急課
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D) 	<p>A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>施策に係る指標である「消防水利の充足率」は、平成27年度において目標を達成した。 なお、施策を構成する主な事業である「消防救急無線デジタル化整備事業」、「高機能消防指令センター更新整備事業」は平成27年度ですでに完成し、目標を達成しており、他の事業についても目標は達成出来る見込みである。</p>
<p>「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 高い(A) <input checked="" type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C) 	<p>B</p>	<p>取組による成果</p>	<p>事業実施にあたり、機器選定や工事手法により事業費の低減等を実施し、消防通信・指令体制の維持強化が十分図られた。消防水利施設等整備については、達成状況の充足率では目標を上回っているが、開発行為等の民間事業による水利設置によるものであり、事業指標である設置数は目標を下回った。これは関係機関との調整により実施出来なかったものであるが、整備の手法については有効な手法と考えている。</p>
<p>市民意識の反映 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 反映している(A) <input type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C) 	<p>A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>市民の意識調査では重要度、満足度ともに他施策と比べても高い数値となっている。火災、救急等の緊急時に対応する能力を市民が要望しており、今後も施策推進は重要であるとする。また大規模災害時の消防救急体制を構築することが求められていると考える。</p>
<p>施策を取り巻く環境変化</p>	<p>今後の消防救急体制に影響する新東名高速道路や国道246号バイパス等の広域幹線道路の整備、インターチェンジの設置に向けた取組が進んでいる。 また、近年、全国各地で大規模災害が頻発し、熊本地震など近年の大規模地震においては公共施設の被害なども発生している。消防施設については経年による老朽化もあり、耐震に対しての不安が発生している。</p>			
<p>施策推進上の課題</p>	<p>市民の意識の中でも消防救急体制の強化は重要度が高く強い要望をいただいている。いざという時に、この要望に対して活動出来るよう消防救急体制の強化を進める必要がある。広域幹線道路の開通にあたっては、広域幹線道路上の災害出動時に市域内の消防力の低下をさせないよう取り組む必要がある。</p>			

↓ **施策の改善 (Action) へ**

施策の方向性 (Action)

<p>今後の方向性の判断</p>	<p>取組の方向性 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 拡大して実施 <input type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し 	<p>左記判断理由</p>	<p>迅速かつ的確な救急・消防力の強化を図るため、消防庁が定める「消防力の整備指針」に基づいた庁舎等の消防施設、消防水利をはじめとする設備、消防救急活動に係る人員の整備を図る。 広域幹線道路開通に伴う資機材、人員の強化は、開通までに整備する必要がある。 消防署本署の整備については消防本部による検討とともに、公共施設の総合的な管理の視点から、組織横断的な検討を進める。</p>
	<p>施策の方向性 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/> 見直し 	<p>左記判断理由</p>	<p>市民等が安全、安心に暮らせるまちをつくるため、これまでは、法令の改正や、広域幹線道路開通予定等により、消防力のうち設備整備に関して計画的に施策展開し、消防力の強化を図ってきたが、今後は設備だけでなく、施設、人員についても整備を進める。</p>